



「市民と野党の共闘で政治を変えよう」と講演する福山真劫氏＝20日、岐阜市

## 野党共闘で政治転換へ

### 「ピースハートぎふ」が集会

市民と野党の共闘組織「ピースハートぎふ」が20日夜、岐阜市内で集会を開き、150人が参加しました。9条センター代表の近藤真岐阜大学教授は開会あいさつで「参院選で野党統一候補が11選挙区で勝利した意義は大きい。さらに一致

点で行動し広げていこう」と語りました。総がかり行動実行委員会共同代表の福山真劫(しんごう)氏が「市民と野党の共闘で政治を変えよう」と題し講演。「世論調査で野党に魅力がないと感じる71%の層へ、希望を届けるための本気度が問

われている。野党共闘で何をめざすのか。明確なメッセージを打ち出せるかがカギだ」と述べました。子育てママ、農業者、若手労働者らが暮らし、平和の問題で発言。県内民進党の吉田りえ副代表、共産党の山本博幸副委員長、社

民党の戸田二郎副代表の野党3党が市民と野党共闘の重要性を強調し、安倍政権を倒す決意を語りました。ピースハートぎふの河合良房代表は「衆院選に向け、全選挙区で市民と野党の統一候補の実現をめざし、4項目(①安保法制廃止②格差と貧困の是正③強権政治打破④安倍政権下の改憲反対)の申し合わせ事項を市民に訴えていきたい」と語りました。

民党の戸田二郎副代表の野党3党が市民と野党共闘の重要性を強調し、安倍政権を倒す決意を語りました。ピースハートぎふの河合良房代表は「衆院選に向け、全選挙区で市民と野党の統一候補の実現をめざし、4項目(①安保法制廃止②格差と貧困の是正③強権政治打破④安倍政権下の改憲反対)の申し合わせ事項を市民に訴えていきたい」と語りました。